

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-125731

(P2002-125731A)

(43) 公開日 平成14年5月8日 (2002.5.8)

(51) Int. Cl. ⁷	識別記号	F I	テマコード (参考)
A 4 5 B 17/00		A 4 5 B 17/00	Z 2 E 1 4 1
9/02		9/02	D 3 B 1 0 4
25/02		25/02	A
25/18		25/18	F
E 0 4 H 15/28		E 0 4 H 15/28	
審査請求 未請求 請求項の数 6 書面 (全 5 頁)			

(21) 出願番号 特願2000-373535(P2000-373535)

(22) 出願日 平成12年10月24日 (2000.10.24)

(71) 出願人 500541081

野月 紀夫

東京都葛飾区高砂5-22-13 ドゥルセオ
ガール101号

(72) 発明者 野月 紀夫

東京都葛飾区高砂5-22-13 ドゥルセオガ
ール101

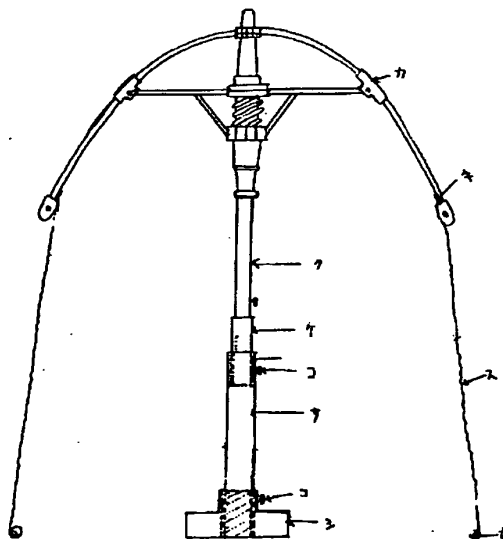
Fターム (参考) 2E141 AA05 BB05 CC05 DD02 EE03
3B104 NA04 UA01

(54) 【発明の名称】 壊れにくいワンタッチ開閉傘型緊急用簡易トイレ

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 壊れにくいトイレ兼用傘を提供する。

【解決手段】 従来の傘の骨の形状と材質を変え折れ曲がりにくい材質のものとするとともに、骨と骨ケースの穴を傘の布をおさえる糸が通り、骨、骨ケース、布が一体となり、風などで風がたわんでもまた骨と骨ケースを結合させる接着剤がとれても、骨と骨ケースがはずれないようにしたと同時に傘の布の端のすその部分を広く折り二重に (2列) にミシンで縫い丈夫にすると共に傘のにぎり部1の底部にねじ山を切り中間ににぎり部を取りつけそれを中間棒の中に差し入れネジで固定したもの、を台座に差し入れネジで締めて固定させる。傘の布の二重 (二列) に縫って、ある所にファスナーをぐるりととり付け、軽くて、薄くて防水性があり、中が透けて見えない材質のカーテンをぐるりと取り付けそのカーテンの底部のすその部分の溝におもりと形を保つための特種なワイヤを通し安定具としカーテンの前部のファスナーを閉めて使用する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】図4と図6を見てわかるように、従来の傘の骨のAの部分はU字形で、ブリキのような材質であったが、それを自転車のスポークのような、円柱状で適当な太さの丈夫で弾力性のある骨に変え曲がっても折れないようにしたもので日傘及び、パラソルも含む

【請求項2】傘をおおう布の先端部分をおさえる糸ウを骨ケースIIの穴と骨A'の糸通し穴と同一の穴を通し風などで骨がたわんでも骨ケースが骨からはずれないようにしたもので日傘及びパラソルも含む

【請求項3】傘をおおう布の先端部分のおり返してあるところ（縫い代）を広くとり図8のオのように傘の内側から二重（2列）にミシンで縫い破れにくくしたもので日傘、パラソルも含む

【請求項4】図1の骨Bと骨C及び支柱の形状、機能はそのまま材質は自転車のスポークのような折れまがりにくい材質に変えたもの

【請求項5】図10を見てわかるように、傘のにぎり部1の底部にねじ山を切り部2と切り離すことができるようにし、にぎり部1の底部ににぎり部子のような色々のデザインのものを取り付けることができるようにした傘及び日傘

【請求項6】図10のように傘のにぎり部1のケの底部にねじ山を切り中間用のにぎり部ツを取り付け（にぎり部1がネジを締めた時傷つかないように）それを中間棒サの内側に差し込み、ネジ：コで締めて固定し、さらにその中間棒を台座シに入れ、ネジ、コで締め固定し、図8を見てわかるように傘の内側のミシンで、縫ってある、丈夫な所、キにぐるとファスナーを取り付け、軽く、薄くて防水性があり、内部が透けて見えない材質のカーテンを取り付け、そのカーテンの底部に図11のように、安定具（特種なワイヤーのようなものを、ビニール等で被ったもので先端は、カーテン底部の安定具を通す溝を傷つけないように丸めて作ってあり輪を付けてたがいにひもで結ぶことができるように、した適当な重さのあるもので、丸めて簡単に収納できるもの）を傘のまわりにぐると垂れたカーテンの底部にミシンで縫って安定具を通す溝を作りそこに安定具を通し先の部分を互いにひもで結び、カーテンの前部に取り付けてあるファスナーを上げて締めて使う、壊れにくいワンタッチ開閉傘型緊急用簡易トイレである

【発明の詳細な説明】

【0001】〔発明の属する技術分野〕本発明は、壊れにくい傘及びそれを利用して作った、車の停滞した時などにやむをえず使用する簡易トイレである。

【0002】〔従来の技術〕まず傘の部分においては基本的には従来の傘で良いが、ただ、風や雪等に強く強い風の日などは町中に多くさんの傘が投げ捨てられていた。それは、図1でわかるように、傘の骨Aの部分が図4を見てわかるように薄い、ブリキのような材質でU字

形をしていた為に曲げにとても弱かった。番、壊れた部分で多いのが、この部分であった。次に骨Aと骨Aを納め骨ケースがはずれやすかったそれは、図6を見てわかるように、骨ケースにあけてある糸通し穴Aと骨Aが同じ穴を通り糸で一体となっていなかった為、骨ケースと骨を接着させていた接着剤がとれると、すぐにはずれやすかった。また、カサを被っている布の先端部分の折り返した部分つまり縫い代が狭かったそれは、外見の見た目を良くする為であったが、破れやすかった。また、支柱の形状及び機能はそのまま良いが強い風で曲がりやすかった。また、図10を見てわかるように、傘のにぎり部1の内部にねじ山を切り色々なデザインのにぎり部2を取りつけられるタイプのものは今までなかったように思う。また、この本発明の壊れにくい傘を利用して、この傘の内側に薄くて軽くて、防水性があり、中が見えない材質のカーテンを傘に取り付け、また傘のにぎり部1の底部にねじ山を切り、中間ににぎり部を取り付け、さらにそれを中間棒の中に入れそれを台座に入れて、ねじで締め固定し、カーテン前部のファスナーを締めカーテンのすその底部の溝にカーテンが風で飛ばないように安定具として通してある特種なワイヤーのような物をビニール等で被ってある物の先をひもで結んで使用する傘型緊急用簡易トイレは今までなかった。

【0003】〔発明が解決しようとする課題〕まず、壊れにくい傘を作る為に、図1の骨Aを強度のあるものにしなければならなかった。また骨BとCについても同様であり支柱も強度が必要だった。また、骨ケースと骨Aがはずれないようにしなければならなかった。また、傘の布のすその部分の縫い代がせまかった。また、にぎり部1とにぎり部2を分離させて色々なデザインのにぎり部と交換できなかった。また車の長時間の停滞などの時トイレに行きたくても道路上、特に高速道路上などではできず大変であったその為傘のようにワンタッチで開いてトイレになるような簡易トイレが必要だった。

【0004】〔課題を解決するための手段〕上記の問題を解決する為に本発明は図1の骨AをU字形でブリキのような材質から自転車のスポークのような円柱状で曲がっても折れない材質に変えた。また骨Bと骨Cについても形状は従来のままで材質を折れ曲がりにくい、自転車のスポークのような材質に変えた。また支柱についても同様に強度のあるものにした。（簡易トイレ用日傘として使う場合は特に骨A、骨B、骨C、及び支柱の太さも普通の壊れにくい傘として使用する場合よりも太く丈夫に作った方が良い）また、骨A'の先端にも糸通し用の穴を図7のイのようにあけて骨ケースの穴と骨の先端の穴を傘を被っている布の先端をおさえる通し糸が通り骨A'と骨ケースと傘を被う布が一体となり骨ケースの間の接着剤がとれても、骨A'が骨ケースからはずれないようにした。また、傘を被っている布の先端のすその部分の折り返しつまり縫い代を広くとりそこをミシンで

二列に縫い、破けにくくした。また、図10を見てもわかるように、傘のにぎり部1の底部にねじ山を切り、にぎり部2の上部にもねじ山を切り分離できるようにした。また色々のデザインのにぎり部を取り付け楽しむことができるようにした。このにぎり部1の底部に図10を見てわかるように中間ににぎり部2を取り付けさらにそれを中間棒サに差し入れねじコで締め固定しその中間棒を台座に差し入れ、ねじコで締め固定し、図8を見てもわかるように傘の内側のミシンで縫ってある、丈夫な所きにぐるりとファスナーを取り付け、軽くて薄くて、防水性があり、内部が透けて見えない素材のカーテンを取り付けそのカーテンの底部に図11のように安定具（特種なワイヤーのようなものをビニール等で被ったもので先端はカーテン底部の安定具を通す溝を傷つけないように、丸めて作ってあ輪もつけて互いに先端でひもで結ぶことができるようにした適当な重さのあるもので丸めて簡単に収納できるもの）を傘のまわりにぐるりと垂れたカーテンの底部にミシンで縫って安定具を通す溝を作りそこに安定具を通し先の部分を互いにひもかマジックテープ（登録商標）を取り付けて結合させ前部のファスナーを上げて締めて使う壊れにくいワンタッチ開閉傘型のトイレにした。

【0005】〔発明実施の形態〕本発明は従来の傘に骨の材質、形状、強度、また支柱の材質等を変えて強度を強くしさらに骨ケースと骨が同一の通し穴を通ることにより骨と骨ケース、布が一体となり骨が骨ケースよりはずれないようにした、傘の布の先端部分のすそ部分を広く折り返し、いわゆる縫い代を広く取りそこにファスナーを取り付け、適当な材質のカーテンを取り付けその底部に特種なワイヤーのようなものを通して風が吹いても飛ばないようにした。さらに支柱のにぎり部1を中間ににぎり部にそしてさらにその中間ににぎり部を中間棒に中間棒を台座に差し入れ固定し、前部のファスナーを締めて緊急時に使用する簡易トイレにした。

【0006】本発明の傘の骨A'は円柱状であり骨A'と骨Bとの結合部D'は図3の力のような金具を使用するわけであるが骨A'が円柱状である為にその取り付け部がすべりやすいので骨A'にガムテープを巻きつけるか薄いゴム板を巻きつけてから金具力を取り付け、トの部分骨A'にそって少しつぶしてから、ねじで締め

【0007】本発明の壊れにくい傘を傘としてだけ使用する場合は、傘の内側にファスナーを取り付ける必要はない。しかしトイレとしても使用する兼用型とする場合は、ファスナーは取り付けなければならないし、骨A'骨B、骨C、及び支柱の太さなどは、その用途に十分耐えるものにしなければならない

【0008】骨A'の上に骨Bと結合させる取付け金具力があるので多少凸凹があり布を傷つけやすいのでその上に細くて目立たない程度の布をかぶせ縫いつけた方が

良い。

【0009】カーテンの底部をカサの底部よりも図9、図11のように広く作ると、トイレとしてゆったり使用できる

【0010】〔発明の効果〕本発明は、以上説明したような形態で実施され、以下に記載されるような効果を奏する

【0011】本発明壊れにくい傘は図1のA'の部分に曲がっても折れにくい自転車のスポークのような材質でできておりまた骨B、骨C、そして支柱も形状や機能は同じであるが材質が折れ曲がりにくい材質で作ってあると共に金属の厚さも厚く作って、あるので風や雪で骨が折れまがることが少ない。

【0012】本発明傘は骨ケースと骨が一の穴を通し糸が通り一体となっている為に骨A'が風などでたわんでも骨ケースと骨との接着剤がはがれても骨が骨ケースから抜け出ることはない。

【0013】本発明壊れにくい傘は傘の布の部分のすその部分が広く折り返してある為につまり、縫い代を広くとりミシンで2重に（2列に）に縫ってある為に破れにくい。

【0014】本発明壊れにくい傘はにぎり部を色々な形状のものに変えて使用できるとともにそのにぎり部に中間ににぎり部、中間棒、台座などを取り付け、又傘の内側にファスナーをぐるりと取り付けそれにカーテンをぐるりとつるしてその底部の溝に安定具を通してカーテンの前部のファスナーを閉めてトイレとして使用できる

【0015】本発明の傘型トイレは持ち運びが便利で小型で軽く、しかもワンタッチで開閉できるので素早く使用が簡単にできる

【図面の簡単な説明】

【図1】傘の骨の略図である

【図2】傘の骨A'と骨Bとの結合部に用いる金具のそれぞれ上面図と側面図と正面図である

【図3】傘の骨A'と骨Bを結合させた場合の側面図である

【図4】従来の骨Aのそれぞれ上から上面図、側面図、底面図である

【図5】本発明の骨A'のそれぞれ上から上面図と側面図と正面図である

【図6】従来の骨Aが骨ケースに納っている時の断面図である

【図7】本発明骨A'が骨ケースIIに納っている時の断面図である

【図8】傘の内側の先端に広くミシンで縫い代をとり2列にミシンで縫いさらに、ファスナーを取り付け場合の底面略図である

【図9】傘にカーテンを取り付けた場合の略図である

【図10】にぎり部1ににぎり部2が納っている時の断面図とそれぞれの形のにぎり部と中間棒の正面図である

【図11】傘に取り付けたカーテンの前部のファスナーを締めトイレとして使用する時の正面図である

【図12】傘に取り付けたカーテンのすその部分（底部）の溝の部分を通して使用する安定具のそれぞれ上から側面図と上面図である

【符号の説明】

A 従来の傘の骨

A' 本発明の骨

B 骨B

C 骨C

D 骨A'と骨Bの結合部

ア 従来の骨Aが納まる骨ケースIと布とを一体化させる為の穴

イ 本発明の骨A'と骨ケースIIと布とを一体化させる為に通る糸の通し穴

ウ 通し糸

エ 本発明の骨A'と骨Bとを結合させる金具の押しつ

ぶす部分

オ ミシンの縫い目

カ 本発明骨A'と骨Bとを連絡させる為の金具

キ. ファスナー

ク 傘の支柱

ケ にぎり部1

コ. ねじ

サ. 中間棒

シ. 台座

10 ス. カーテン

セ. 安定具

ソ ねじ山

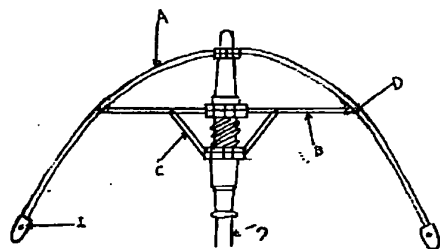
タ にぎり部2

チ 形状のちがうにぎり部2

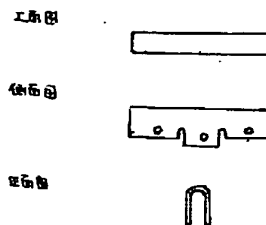
ツ 中間にぎり部

テ ボルト（ネジ）

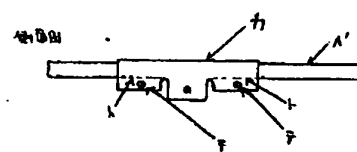
【図1】



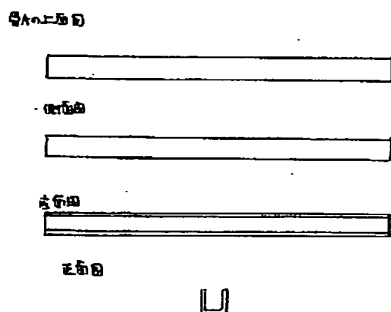
【図2】



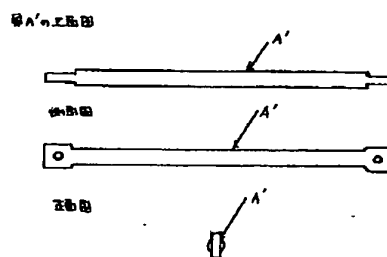
【図3】



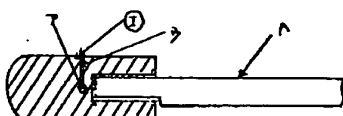
【図4】



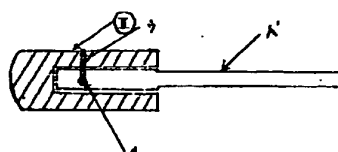
【図5】



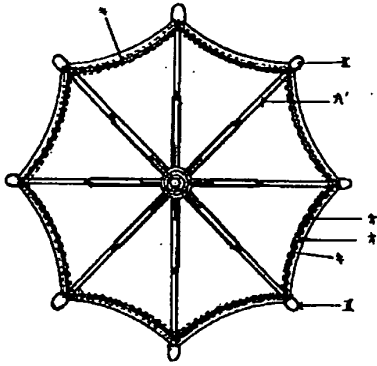
【図6】



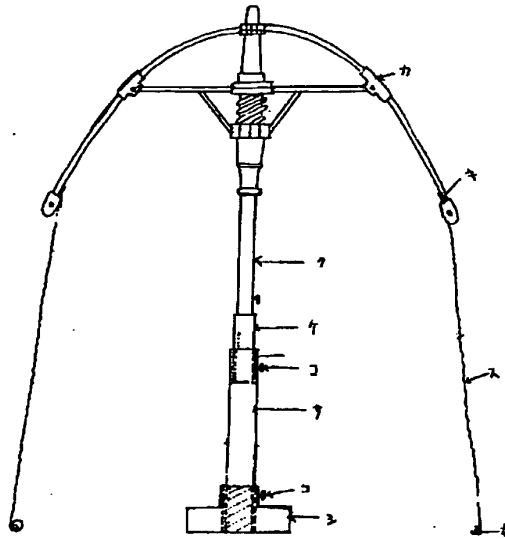
【図7】



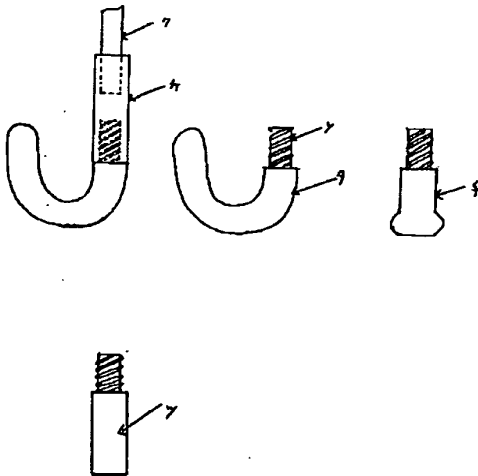
【図8】



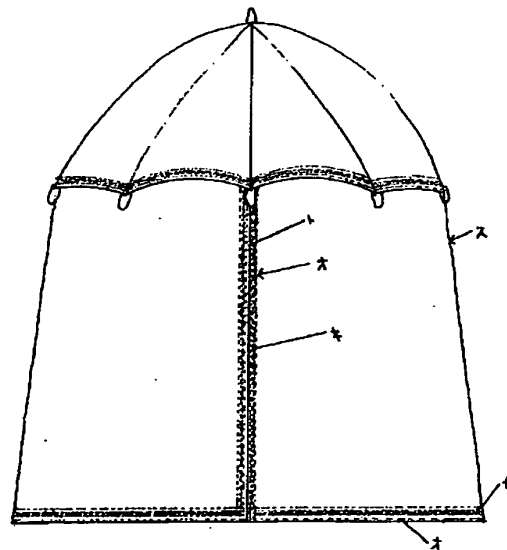
【図9】



【図10】



【図11】



【図12】

